

年 組 ( 番 ) 名前

記入日 月 日

# 希少動物 捜査30年

## 「生きものがかり」秘話 児童書に

警視庁の「生きものがかり」と呼ばれ、活躍してきたベテラン警部、福原秀一郎さん（65）が3月末に退職する。福原さんは「珍しい」などの理由で、売買が禁止されたり制限されたりしている希少動物を輸入し、お客に売りつける密輸・密売事件の専門捜査員を約30年にわたって務めた。福原さんの捜査の話は子ども向けの本として出版されている。

鹿兒島県出身。テレビの

## 警視庁 福原さん引退へ

組にもふれて  
いる。

「たかが生き



捜査のうら話をまとめた児童書を手にする福原秀一郎さん

刑事ドラマにあこがれ、1980年に警察官になった。「刑事としての強みはなんだろう」と悩んでいたころ、自宅で飼っていた魚のえさを買いに熱帯魚店に行き、そこで売買が制限されている大型淡水魚「アジアカロワナ」を発見。店に張り込みを続け、店にやってきた密売業者をつかまえた。その後も絶滅寸前のカメやサル、昆虫や花など様々な生き物からむ事件を解決してきた。

昨年10月、童話作家が福原さんに取材してまとめた児童書が出版された。本では、千葉県の動物園で起きたレッサーパンダの盗難事件、絶滅の恐れのあるコツメカワウソの動物カフェへの密売事件など、福原さんが担当した6事件を紹介。捜査員としての苦労話だけでなく、捜査に協力する動物園や自然保護団体の取り組みにもふれている。

もの「刑事の仕事じゃない」と仲間から陰口をたたかれることもあったが、福原さんは「生きものは地球の財産。それを守るのも警察の大切な仕事だと信じてきた。一つでも多くの生きものの命を救えたのなら、警察官冥利に尽きる※」と笑顔で話した。

※「冥利に尽きる」＝その立場にある者としてこれ以上の幸せはないと感じること。

1 記事に出てくる「生きものがかり」とは、何をする人のことですか。次のうちから最も適切なものを選び、番号で答えましょう。

- ① 警察署で飼っている動物たちのお世話をする人のこと。
- ② 法律に違反して動物などを売買する人をつかまえる人のこと。
- ③ 珍しい動物の命を救うため、動物園や自然保護団体を支援する人のこと。
- ④ 警察が捜査した動物に関する事件について、本にまとめる人のこと。

2 「『たかが生きもの』『刑事の仕事じゃない』と仲間から陰口をたたかれることもあった」とありますがなぜでしょう。最も適切なものを選び、番号で答えましょう。

- ① 福原さんが殺人事件などの捜査をさぼって、動物の捜査ばかりをしていたから。
- ② 福原さんの仲間の中には、動物や昆虫などを嫌っている人が多かったから。
- ③ 福原さんの仲間の中には、刑事が解決すべき事件は、動物の事件ではないと感じる人がいたから。

3 福原さんが最後に「笑顔で話した」ことを強調している理由として、最も適切なものを選び、番号で答えましょう。

- ① 福原さんが、希少な動植物を守り、命を救うことができたことを誇りに思っていることを伝えるため。
- ② 福原さんが、けがなどをすることなく無事に定年を迎えられて、良かったと感じていることを伝えるため。
- ③ 福原さんは、自然保護団体の人たちが自分の本を出版してくれたことを、誇りに思っていることを伝えるため。
- ④ 福原さんは、自分の陰口を言っていた仲間たちを見返すことができて良かったと思っていることを伝えるため。